

時間\日付		6月16日(火)	6月17日(水)	6月18日(木)	6月19日(金)
9時25分		オリエンテーション		オリエンテーション	
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	<b>災害対応各論(災害廃棄物の対応)</b> 平山 修久 人と防災未来センター リサーチフェロー (東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター 准教授) ・自然災害時には大量の災害廃棄物が生じる。災害後の復旧・復興期の市民が前向きになるためには市街地からのごみの排出が必要である。本講義では、災害廃棄物対応について学び、部局間連携について考える。	<b>災害対策本部の空間構成設計演習</b> 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト 防災部長 (千葉大学 非常勤講師) ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する。	<b>業務継続マネジメント論</b> 渡辺 研司 人と防災未来センター 上級研究員 (名古屋工業大学大学院社会学専攻 教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する。
		11:00～11:30 <b>講話</b> 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 <b>オリエンテーション</b> 具 本 峻 人と防災未来センター主任研究員	<b>図上訓練設計</b> 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主幹) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ。		<b>災害時の情報発信・広報</b> 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 客員研究員、元読売新聞編集委員) ・災害対応を円滑に行うために、マス・メディアを能動的に活用して、効果的に情報発信や広報を行う方法を考える。
		休 憩		休 憩	
13時15分～14時30分	3限	<b>被災者行政の流れと課題</b> 菅野 拓 人と防災未来センター リサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ。	<b>広域避難と生活再建</b> 越山 健治 人と防災未来センター 上級研究員 (関西大学社会安全学部 教授) ・被災者の仮住まいや広域避難、生活再建の実態から、応急対応・復旧期の行政対応の重要性とその具体策を学ぶ。	<b>災害時の健康危機管理</b> 神原 咲子 神戸市看護大学看護学部 基盤看護学領域 災害看護・国際看護学分野 教授 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める。	<b>内閣府が推進する防災DXの対応</b> 大江 昌久 内閣府政策統括官(防災担当) 付 参事官(防災デジタル・物資支援担当) 付 参事官補佐 ・内閣府が推進する防災DXの取り組みについて学ぶ。
		<b>NGO/NPOの災害対応と協働</b> 明城 徹也 特定非営利活動法人(認定NPO法人) 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (大阪公立大学大学院文学研究科 准教授) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ。	<b>災害時要配慮者への対応</b> 田村 圭子 人と防災未来センター 客員研究員 (新潟大学危機管理本部危機管理センター 特任教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ。	<b>避難の実態と課題</b> 竹之内 健介 香川大学創造工学部 准教授 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ。	<b>全体振りかえりワーク</b> 具 本 峻 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える。
16時15分～17時30分	5限	<b>地域防災計画論</b> 今石 佳太 人と防災未来センター DisasterManager (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 客員研究員、元芦屋市長室室長、前熊本県益城町危機管理監) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。	<b>災害復興と被災者支援のための法制度</b> 岡本 正 人と防災未来センター 特別研究調査員 銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士・博士(法学)・岩手大学地域防災研究センター 客員教授・新潟大学研究統括機構 客員教授・防災科学技術研究所 客員研究員) ・災害時の被災者のリーガルニーズを把握し、災害復興や生活再建に役立つ様々な法制度を学ぶ。	<b>災害対応各論(TKBの重要性について)</b> 水谷 嘉浩 市民保護研究所 所長 避難所・避難生活学会 代表理事 ・能登半島地震での対応を踏まえた避難所におけるTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の重要性について学ぶ	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	